

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年12月11日(2008.12.11)

【公表番号】特表2008-517037(P2008-517037A)

【公表日】平成20年5月22日(2008.5.22)

【年通号数】公開・登録公報2008-020

【出願番号】特願2007-537278(P2007-537278)

【国際特許分類】

A 0 1 N	31/02	(2006.01)
A 6 1 K	8/34	(2006.01)
A 6 1 K	8/40	(2006.01)
A 6 1 K	8/36	(2006.01)
A 6 1 Q	15/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/10	(2006.01)
A 6 1 P	31/10	(2006.01)
A 6 1 K	31/047	(2006.01)
A 6 1 K	31/05	(2006.01)
A 6 1 K	31/27	(2006.01)
A 6 1 K	31/216	(2006.01)
A 2 3 L	3/349	(2006.01)
A 2 3 L	3/3508	(2006.01)
A 2 3 L	3/3517	(2006.01)
A 2 3 L	3/3481	(2006.01)
A 0 1 N	37/02	(2006.01)
A 0 1 N	37/10	(2006.01)
A 0 1 N	47/12	(2006.01)

【F I】

A 0 1 N	31/02	
A 6 1 K	8/34	
A 6 1 K	8/40	
A 6 1 K	8/36	
A 6 1 Q	15/00	
A 6 1 P	17/00	1 0 1
A 6 1 P	43/00	1 2 1
A 6 1 P	17/10	
A 6 1 P	31/10	
A 6 1 K	31/047	
A 6 1 K	31/05	
A 6 1 K	31/27	
A 6 1 K	31/216	
A 2 3 L	3/349	
A 2 3 L	3/3508	
A 2 3 L	3/3517	
A 2 3 L	3/3481	
A 0 1 N	37/02	
A 0 1 N	37/10	
A 0 1 N	47/12	

**【手続補正書】**

【提出日】平成20年10月20日(2008.10.20)

**【手続補正1】**

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

**【補正の内容】**

【特許請求の範囲】

**【請求項1】**

(a) 1,2-ヘキサンジオールおよび1,2-オクタンジオール、および

(b) 1、2またはそれ以上の、ソルビン酸カリウム、パラベンおよびヨードプロピニルブチルカルバメート(IPBC)からなる群から選択される物質、  
を含む、またはこれら成分からなる抗菌性混合物。

**【請求項2】**

更に、成分(a)として1,2-ペンタンジオールおよび/または1,2-デカンジオールを含む請求項1記載の抗菌性混合物。

**【請求項3】**

化粧料製剤または医薬製剤または食料品であって、

(a) 1,2-ヘキサンジオールおよび1,2-オクタンジオール、および

(b) 1、2またはそれ以上の、ソルビン酸カリウム、パラベンおよびヨードプロピニルブチルカルバメート(IPBC)からなる群から選択される物質、および

(c) 更に、公知の成分、

を含み、成分(a)および(b)に関連する物質の全量が、該製剤または該食料品の全質量に対して、0.01~30質量%なる範囲内にあることを特徴とする、上記化粧料製剤または医薬製剤または食料品。

**【請求項4】**

更に、成分(a)として1,2-ペンタンジオールおよび/または1,2-デカンジオールを含む請求項3記載の化粧料製剤または医薬製剤または食料品。

**【請求項5】**

該使用する1,2-ヘキサンジオールおよび1,2-オクタンジオールおよびまた任意の1,2-ペンタンジオールおよび/または1,2-デカンジオールの全質量に対して、2~10質量%なる範囲の割合で、IPBCを含有する、請求項1または2記載の抗菌性混合物または請求項3または4記載の製剤または食料品。

**【請求項6】**

各例において別々に考察して、成分(a)に関する物質の量および/または成分(b)に関する物質の量が、抗-微生物的に有効ではないが、成分(a)および(b)に関する物質の全量が、抗-微生物的に有効であることを特徴とする、請求項1、2または5記載の混合物または請求項3、4または5記載の製剤または食料品。

**【請求項7】**

(a) 1,2-ヘキサンジオールおよび1,2-オクタンジオール、および

(b) 1、2またはそれ以上の、ソルビン酸カリウム、パラベンおよびヨードプロピニルブチルカルバメート(IPBC)からなる群から選択される物質、  
を含む、もしくはこれら成分からなる混合物の、抗菌活性物質の混合物としての使用。

**【請求項8】**

更に、成分(a)として1,2-ペンタンジオールおよび/または1,2-デカンジオールを含む請求項7記載の使用。

**【請求項9】**

以下の工程を含むことを特徴とする、腐敗し易い製品を保存し、またはこれを抗-微生物処理する方法：

抗-微生物的に有効な量の、以下に列挙する成分：

- (a) 1,2-ヘキサンジオールおよび1,2-オクタンジオール、および
- (b) 1、2またはそれ以上の、ソルビン酸カリウム、パラベンおよびヨードプロピニルブチルカルバメート(IPBC)からなる群から選択される物質、  
を含む、またはこれら成分からなる混合物と、該腐敗し易い製品とを接触させる工程。

【請求項 10】

抗-微生物的に有効な量が、アスペルギルスニガー(*Aspergillus niger*)に対して有効な量である、請求項 9 記載の方法。

【請求項 11】

更に、成分(a)として1,2-ペンタンジオールおよび/または1,2-デカンジオールを含む請求項 9 または 10 記載の方法。

【請求項 12】

- (i) 体臭の原因となる微生物、
- (ii) アクネの原因となる微生物、および/または
- (iii) 真菌症の原因となる微生物、

の化粧学的および/または治療学的処置のための組成物であって、以下の成分：

- (a) 1,2-ヘキサンジオールおよび1,2-オクタンジオール、および
- (b) 1、2またはそれ以上の、ソルビン酸カリウム、パラベンおよびヨードプロピニルブチルカルバメート(IPBC)からなる群から選択される物質、  
を含む混合物、またはこれら成分からなる混合物の、抗-微生物的に有効な量を含むことを特徴とする、上記組成物。

【請求項 13】

更に、成分(a)として1,2-ペンタンジオールおよび/または1,2-デカンジオールを含む請求項 12 記載の組成物。